

京都大学生協 自転車無料点検会



[健康と安全]

取り組み概要

日時：11月2日(水)12:45～15:30受付
場所：京都大学 西部会館ルネ
点検台数：39台

背景：京都大学の立地上、自転車を利用する学生が多く、自転車は「京大生の三種の神器」とまで言われています。それに伴い、自転車による事故や共済金の給付も後を絶たず、対応が必要でした。そこで、今年は3年ぶりに対面の自転車無料点検会を開きました。

様々なアプローチで組合員の安全を支える

POINT.1 点検会+αの活動

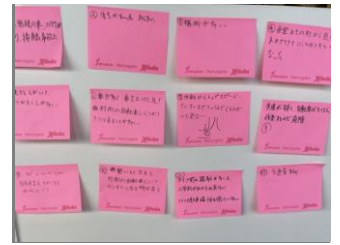


今年の自転車点検会は、京都大学生協の「加入共済チーム」の職員が中心となって開催しました。組合員には丁寧な対応をされており、積極的に組合員とコミュニケーションを取ろうとする姿が素敵でした。また、コンテンツとしては自転車の点検にとどまらず、「ハザードマップ」「模擬給付体験会」「体組成測定会」「泥酔眼鏡体験」などの自身の健康と向き合う企画を幅広く用意していました。組合員が待つ時間に、しっかり安全を考えるきっかけを作っていたのが良いと感じました！

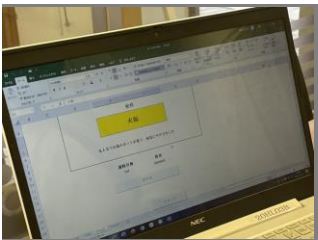
POINT.2 ハザードマップ

自転車点検会に参加してくれた組合員に、京都大学周辺のスポットで「危ない」と感じる場所をマップにシールを貼ってもらい、その内容をボードに書いてもらいました。実際に自転車に乗っていて危険を感じた場所を、組合員間で共有することで事故を未然に防ぐ取り組みでした。

マップやボードを用いて、組合員同士が助け合えるような仕組みづくりができていて素敵です！



POINT.3 他大学生協を参考にした企画



自転車点検会の企画の1つとして、模擬給付体験会を実施していました。Excel上で自身に起こる怪我が表示され、その怪我の内容に沿って、実際に給付の申請を行うロールプレイング型の企画です。給付申請の方法を知らない人でも、これからの「もしも」に備えることができる企画でした。

また、この企画は、全国共済セミナーの分科会で愛知教育大学生協の「生協フェスタ」を聞きに行った際に、「やりたい」と考えて組み込んだ企画で、他大学生協の良い点を自大学に吸収する視点が見られました。